

2年次1学期～3年次1学期

基礎医学コース

| 専門基礎科目 | 生理系科目 |
| 病理系科目 | 社会医学系科目 |

人体の基本構造を学び、
医学の基礎を培います



3年次 病理学実習2
「皮膚・血液」

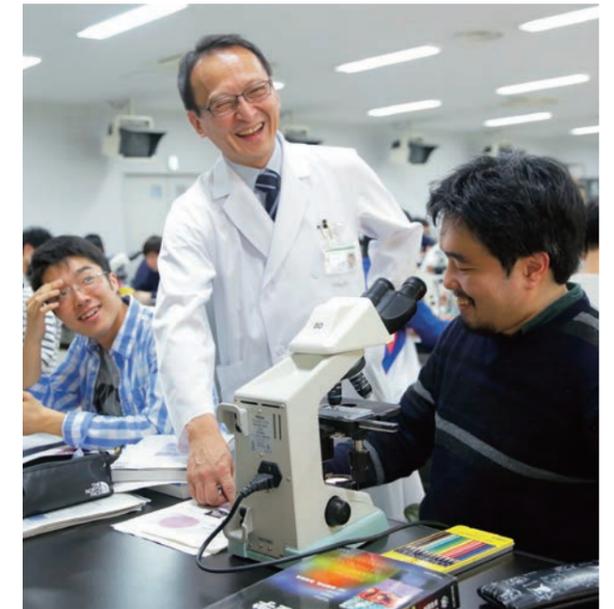
コースの特色

病気は正常の変化したものと捉えられ、病気の理解は正常の理解に支えられます。

このコースは、2年次1学期から3年次1学期までの1年半に及びます。まず、人体の正常な構造と機能を学び(解剖学、組織学、画像解剖学、生理学)、生命現象を分子・遺伝子レベルから理解します(生化学、薬理学)。また、正常から病気に至る基本的プロセスを学びます(微生物学、免疫学、病理学、基礎応用腫瘍学)。

さらに、人間の健康や病気について、人間集団の相互作用、環境問題、社会制度、予防などの観点からアプローチする社会医学系の科目も学びます(衛生学、公衆衛生学、法医学)。

なお、基礎医学コースから始まる医学専門科目は全科目必修であり、時間割も濃密です。



病理学の実習風景

EVENT



2年次学生会懇話会

4月初旬に基礎医学コース(2年次)進級ガイダンスがあります。医学部長の講話や医学専門課程に関するガイダンスののち、学生会懇話会が催されます。

医学科生からのメッセージ

医療者への次のステップ

一年間の教養課程を終えると、いよいよ医療者として社会に出るために欠かせない「基礎医学コース」が始まります。約1年半にも及んで学ぶ基礎医学こそ、皆さんが医療者への道を進むうえで大切な次のステップとなるでしょう。

基礎医学コースは解剖学から始まり、組織学や生化学、生理学、薬理学、病理学など、人体を体系的に理解するために必要な知識を順序立てて学ぶことができます。どの分野も医療者としての人生を歩むにあたって必要不可欠なものです。私自身、基礎医学コースが始まって以降は、医学生としての自覚が増し、もっと深く医学のことを知りたいと思ったことを覚えています。本コース後半では免疫学や微生物学など、より臨床医学に近い分野についても学べ、3年2学期に始まる「臨床医学コース」への期待が高まります。

さらに基礎医学コースでは、衛生学や公衆衛生学、法医学など、社会医学系の科目も学べます。社会医学を通じ、人間の「健康」を考えるにあたって大切な視点を身につけ、健康を多角的な観点で捉えることが重要であることを実感しました。

大学生活6年間の4分の1を占める基礎医学コースは、私たち医学生が医療者になる上でかけがえのない学びの時間です。医学生は、基礎医学を一つ一つ確実に体得することで一段ずつ医療者への階段を上り、その道はまた次の扉へと続いていくことでしょう。

田浦 拓弥さん [6年生]
清風高等学校(大阪府)卒業

